

平成24年度環境サロン「世代間の対話～倫理について考える」 昼間 担当: 河口・松井・渡辺・浮田

2011年3月に起きた東日本大震災と福島第一原発の事故以後、これまでのわれわれの生き方がこれでよかったのかを問われているように思います。従来の価値観を見直し、次世代にどのような環境を引き継いでいくのかを考える必要があります。本シリーズでは9月までのシリーズに続いて、さらに社会倫理、環境倫理、生命倫理、技術倫理など、主にシニアの先輩達の意見をお聞きした上で、対話をとおして、議論を深めたいと思います。

	予定日	テーマ	考える素材と課題
1	10月6日 (土)	西洋と東洋の環境倫理について (アスガル・アリ)	人間と自然の関係についてのイスラム教徒キリスト教の違い、宗教改革による西欧合理主義の台頭と東洋における仏教・ヒンドゥー教などの違いなどについて歴史的経過を踏まえて解説する。
2	10月27日 (土)	仏教の環境倫理～みすずのまなざし (龍谷大学名誉教授 上山大峻)	山川草木悉皆成仏の仏教の考え方について、金子みすずの詩におけるまなざしを通して、説明する。
3	11月17日 (土)	団塊の世代の倫理感について (田村洋一)	現代の市民感覚としての倫理感について、それぞれの世代がどんなイメージを持ち、自分の生活の指針としてどう位置づけられているのかについて語っていただき、世代間の対話を行う。
4	12月1日 (土)	現代の若者の倫理感について (宇部未来会議 藤重雅明)	現代の市民感覚としての倫理感について、それぞれの世代がどんなイメージを持ち、自分の生活の指針としてどう位置づけられているのかについて語っていただき、世代間の対話を行う。
5	12月15日 (土)	科学技術の倫理について (山口大学医学部 川崎 勝)	科学技術論の立場から、科学や技術の世界において、倫理は必要なのか、まとめ、対話を行う。
6	1月19日 (土)	高度経済成長を支えた世代の倫理感 (山口大学名誉教授 中西 弘)	現代の市民感覚としての倫理感について、それぞれの世代がどんなイメージを持ち、自分の生活の指針としてどう位置づけられているのかについて語っていただき、世代間の対話を行う。
7	2月2日 (土)	生命倫理について (山口県立大学 江里健輔)	現代の医療の進歩によって、生命に対する考えかたも随分変化しているように思われる。社会的な問題も含めて生命倫理、医療倫理の問題について考える。
8	2月16日 (土)	企業人の倫理について～科学技術をどう活かすか、 (宇部商工会議所 千葉泰久)	企業人としての社会的責任や、これからの時代の科学技術に期待されることについてまとめ、対話する。
9	3月16日 (土)	宗教倫理について (顔王寺住職 西村文成)	価値観の見直し求められる現代において、宗教者に求められる役割についてまとめ、対話する。

補足

- 1, 本シリーズは宇部市まちなか環境学習館とうべ環境コミュニティーの共催として実施します。
2. 開催日は原則、10月から3月まで、第3土曜日です。10月、12月、2月は第1土曜日も行います。1月19日と2月16日は、午後市民大学と集みますので、**19時～21時の時間**にずらしませう。お間違いないようご注意下さい。
- 3, 15:00～17:00 の、前半は話題提供者からの問題提起、後半は参加者間の討論を基本とします。レジュメと動画の準備を話題提供者と運営責任者が行います。
- 4, 成果報告は、形にして、ポータルサイトに残します。また、エコフェアなど、別に発表の機会を設けます。

その都度、参加も認めています。資料代は会場費を含め、300円を毎回納めていただきます。

駐車スペースがあまりないので、できるだけ、自転車等でお出で下さい。